

6 地域づくり

まちのにぎわいづくり事業

予算額 1億 187万円

R5繰越予算額 6億5,508万円

当市が誇る歴史ある息栖神社(東国三社)や神之池緑地、波崎東部地域の魅力を向上させ、市内外から多くの方々に訪れていただくことにより、定住人口および交流人口などの拡大による地域の活性化を図ります。

息栖神社周辺整備

- 情報発信、物販、飲食、休憩スペースを備えた拠点施設の整備
- イベントで活用可能な拠点施設駐車場整備
- 風情を演出する石畳風舗装整備 ● 船だまり周辺の景観整備

神之池緑地整備

- 桜を主とした樹木再配置計画策定

波崎東部地域

- 波崎東部市営住宅再編に伴う土地活用基本計画および実施方針の策定



拠点施設整備イメージ

コミュニティセンター管理運営事業

予算額 3億3,161万円

大野原・うずもコミュニティセンターは自主避難所に指定されており、災害時、自主避難を希望する方の問い合わせ状況により避難所を開設します。安全安心な避難所となるよう改修を行ない、通常利用のほか自主避難所としての機能強化を図ります。

- 大野原コミュニティセンターは、2023年度から引き続き、外壁などの改修を実施
- うずもコミュニティセンターは、多目的ホールに冷暖房機能を備えた空調設備を設置



多目的ホールの状況
(うずもコミュニティセンター)

7 自治体運営

広報戦略事業

予算額 1,490万円

市の多様な魅力を市内外に戦略的・効果的に情報発信し、シビックプライド(市への愛着や誇り)の醸成と定住を促進し、移住および交流のきっかけを与え、地域の活性化を図ります。

- 魅力情報発信ポータルサイト「カミスミカ」の活用
- 懐かしのグルメ復活プロジェクト
- イメージキャラクター、PR大使の活用
- エフエムかしま「かみす放送局」の発信



神栖市PR大使のオスペンギン

電子自治体推進事業

予算額 1億8,003万円

デジタル技術を積極的に活用し、さらなる市民サービスの利便性向上と行政の業務効率化を目指す「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の取り組みを推進します。

- DXによる窓口サービス向上
 - 新 庁舎間オンライン相談窓口
 - 新 ライフイベントごとのウェブサービス手続きガイド
 - 新 オンライン窓口予約
- スマホなどの講習会実施(デジタルデバイド対策)
- 新技術による行政事務効率化(RPA・AI-OCRの導入業務の拡大など)



シニア向けスマホ講習会

水産業振興事業

予算額 2,787万円

意欲ある漁業者や水産加工業者などの新たな商品開発や販路開拓などの多様な取り組みを支援するとともに、水産物の消費拡大を図るための水産製品品評会への出展や地元水産物のPR活動などを支援することで魚食普及を促進し、市の重要基幹産業である水産業の維持安定に努め、漁業・水産加工業の振興を図ります。

- 水産業元気アップ支援事業補助金 ● 魚食普及事業
- 内水面漁業振興事業 ● 海面・内水面小型船漁業振興事業



利根川産ヤマトシジミ

観光振興事業

予算額 6,458万円

当市の観光スポットやイベント情報を広く発信するとともに、フィルムコミッション事業を通じ新たな魅力の発掘と知名度向上に取り組み、当市への誘客を促進します。また、まつりなどイベントへの助成を行ない、観光振興と地域活性化を図ります。

- イベント・観光PRによる誘客促進 ● まつり・イベントへの助成
- フィルムコミッションによる知名度向上
- ビーチイベントの開催などによる海水浴場への誘客促進



ビーチイベント

4 都市基盤

市営住宅建替事業

予算額 6億3,350万円

公営住宅等長寿命化計画により、低所得者の居住の安定を図るため、老朽化が著しい市営住宅を集約し、1棟50戸の(仮称)日の出町住宅に建て替えます。(2024年10月完成予定)



市営住宅完成イメージ

雨水排水対策事業

予算額 5億 84万円

浸水実績のある地区を中心に側溝および排水路を整備し、長期的視野で整備効果を検証しながら、計画的に改修工事などの雨水排水対策を実施します。また、既存の老朽化した排水路を改修し排水機能を維持します。

5 教育・文化

学力向上推進事業

予算額 1億5,088万円

市内外の企業・事業所などと教育分野が連携し、意見交換や交流活動を展開する「キャリア☆フェス神栖」を開催するほか、英語力の向上や国際感覚の育成を図るため、ブリティッシュヒルズやイングリッシュキャンプでの研修を実施するなど、学習支援体制の充実や教職員の資質向上を図り、児童生徒の確かな学力の定着を目指します。



イングリッシュキャンプ

小・中学校給食費の無償化

予算額 1億8,516万円

物価高騰における保護者の経済的負担を軽減するため、2020年度から引き続き、児童・生徒の学校給食費保護者負担金を1年間無償にします。



矢田部公民館管理運営事業

予算額 3億1,503万円

1982年に建築され、生活文化の振興・社会福祉の増進に必要な施設となっている矢田部公民館は、老朽化・塩害などによる経年劣化などが進んでいることから、長寿命化計画による劣化度調査を基に、安全・安心な施設の維持管理のための改修工事を行ないます。